

きつと もっと これから。

FUKUOKA

シルバー だより

CONTENTS

特集 会員のつどい	1
支部通信	3
就業先情報(城南区)	11
日報の変更について	12
講習会等実施結果	13
事業実績/安全	15
会議開催状況	17
歴史散歩(南区)	18
会員のひろば	19
互助会	21
事務局からのお知らせ	22
編集後記	裏表紙



JR博多シティ (撮影: 博多支部 田中邦美)

(社)福岡市シルバー人材センター

会員のつどい 開催

東

支部

ひがししづ



- 日時 3月24日(木) ●参加人数 285名
- 場所 コミセンわじろ(和白地域交流センター)
- 内容
 - ・支部事業活動状況報告
 - ・特別講演
「心とからだをリフレッシュしましょう」
 - ・アトラクション

博多

支部

はかたしづ



- 日時 3月12日(土) ●参加人数 343名
- 場所 博多市民センター大ホール
- 内容
 - ・22年度経過報告と23年度基本方針
 - ・22年度安全報告と23年度方針
 - ・ウイメンズバンド「Shion」による演奏
 - ・アトラクション及び抽選会

中央

支部

ちゅうおうしづ



- 日時 3月12日(土) ●参加人数 214名
- 場所 福岡市市民福祉プラザ「ふくふくプラザ」
- 内容
 - ・平成22年度中央区物故会員追悼黙とう
 - ・来賓及び22年度中央区役員紹介
 - ・委員長挨拶、来賓挨拶
 - ・22年度事業実績報告
 - ・アトラクション「津軽三味線演奏」
(福岡大学付属若葉高等学校)

南

支部

みなみしづ



- 日時 3月10日(木) ●参加人数 216名
- 場所 福岡市男女共同参画推進センター「アミカス」
- 内容
 - ・委員長挨拶・来賓挨拶
 - ・平成22年度 経過報告
 - ・平成23年度 活動目標・質疑応答
 - ・講演「歯の話」
 - ・アトラクション(カラオケ)
 - ・お楽しみ抽選会

各支部において、「会員のつどい」が開催されました。前年度の事業報告及び今年の活動方針説明が行われ、その後、講演やアトラクションが行われました。

城南

支部

じょうなんしぶ



新役員の紹介

- 日時 3月28日(月)
- 参加人数 200名
- 場所 城南市民センター
大ホール
- 内容 ・平成22年度支部
事業報告等
・平成23年度支部
新役員紹介
・アトラクション
(演芸)・抽選会



会場では東日本大震災義援金の募金活動も行われました。

早良

支部

さわらしぶ

- 日時 3月18日(金)
- 参加人数 375名
- 場所 早良市民センター
- 内容 ・平成22年度
早良支部事業推進状況について
・アトラクション
“チンドンオーケストラ”による演奏会



西

支部

にししぶ



- 日時 3月18日(金)
- 参加人数 270名
- 場所 西市民センター
大ホール
- 内容 福岡市衛生課主事中山真治氏による「健康で快適な暮らしの話」と題して講演があり、午後は会員によるアトラクションで盛り上がる合間に、今回初めて「九大軽音楽部カルテット」による演奏を楽しみました。



支部通信

東

支部

ひがししぶ

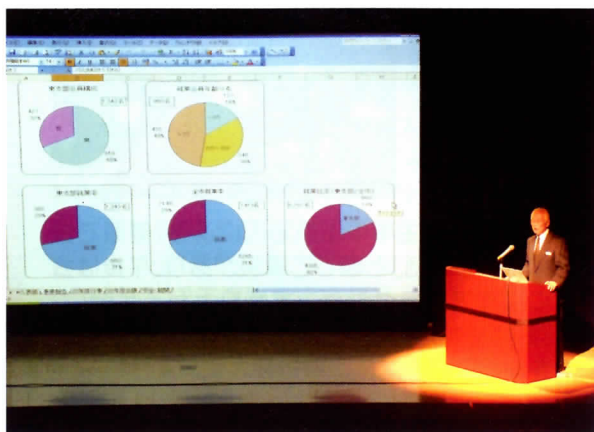
シルバー農園だより



シルバー農園では、2月寒風の中でネギの収穫時期を迎えました。本部はじめ各支部の皆様にもご協力頂き、完売することができました。ありがとうございました。3月初旬ジャガイモの植え付けをし、5～6月には玉ねぎが収穫時期となります。無農薬で虫くい等もみられますが、安全・安心・安価の“3安印”をモットーに頑張っています。

収穫時期になりましたら、東支部に問い合わせをして下さい。

会員の集い



3月24日「コミセンわじろ」において東支部の会員の集いが開催されました。250余名の参加があり、池上常務理事の挨拶に始まり、委員長の22年度支部事業実績報告と新公益法人申請への取組みの状況などが説明されました。

支部の新役員（地域班、職群班長）の紹介がありました。

●特別講演



健康運動指導士の上野誠子先生による「心とからだをリフレッシュしましょう」をテーマにした講演がありました。また、実技として軽い体操の紹介があり心も体もリフレッシュしました。

●アトラクション：芸能大会

午前の部が終わり、楽しいお弁当タイムの後、午後のアトラクションが9演目あり、拍手喝采の楽しいひと時でした。

つづいてお楽しみ抽選会があり、当落にため息が聞こえました。最後に竹内専任理事の挨拶で閉めくくり閉会となりました。

義援金の募金箱



東日本大震災に際し、3月14日から、支部受付に募金箱を設置し、皆様にご協力をお願いしています。

集まった義援金は、福岡県シルバー人材セン

ター連合会を通して被災地に送られます。

広報委員 安武 和芳

博多

支部

はかたしづ

アジア美術館班会議の開催



平成 23 年 3 月 9 日（水）10 時からアジア美術館班会議が支部会議室で開催され、当日は倉岡副委員長をはじめ班員 22 名が出席して下記の議題について協議しました。

1. 平成 23 年度の班体制について
2. 班人事の異動報告
3. 班体制の変更に伴うシフトの変更について

先ず、倉岡副委員長から新年度の班体制について福岡市アジア美術館と協議した内容説明があり、1 班 5 名として 5 班体制で実施したい旨の報告がありました。

皆さんから種々の意見や要望が出ましたが、それらを踏まえて新体制に協力していくことで了承されました。

次に班員の異動報告では、新任は、1 月 13 日付・増田璦子さん、4 月 1 日付・魚島勝子さん（班長）、山崎成子さん（副班長）、品川利子さん（新収納）、岡野俊子さん、川口英美さん。退任は、1 月 11 日付・神谷敬子さん、3 月 31 日付・宮脇ミチエさん（前班長）との報告がありました。

班体制の変更に伴うシフトの変更についても、皆さんの意見を聞きながら協議が行われ新年度に向けての体制づくりが整いました。

支部「会員の集い」を開催



平成 23 年 3 月 12 日（土）午前 10 時から博多市民センターホールにおいて、来賓・役員・会員など 290 名が出席して開催されました。

「会員の集い」は坂井委員長の挨拶に続いて田中専任理事及び池上常務理事の挨拶がありました。

議題の平成 23 年度の基本方針と、重点活動方針について坂井委員長から説明があり、その要旨は次のとおりです。

平成 22 年度に引き続き、会員ひとり一人が就業を通じて健康を保持し、社会参加の喜びと生きがいを目指すと共に、高齢法に基づく適正就業と安全、就業期間の基準の遵守に力を入れ、平成 24 年度から新公益法人に移行するための基礎を作る 1 年間とします。

また、重点活動方針としては、

- ①就業開拓の推進と就業先の維持に更に努力する。
- ②便利屋事業に力を入れます。
- ③安全・適正就業、シルバーの基準・規定の徹底。などの説明がありました。

次に松尾安全担当から平成 22 年度安全報告と 23 年度の安全方針については、昨年度に続いて事故『0』を目指して会員のご理解・ご協力をお願いする旨の話がありました。

今回は特別出演として、若いママさんで編成された吹奏楽団“Shion”の出演や、午後の部ではアトラクションがあり午後 3 時に閉会しました。

広報委員 松井 洋治

中央

支部 ちゅうおうしぶ

平成22年度中央支部 駐輪場接遇研修会開催



2月9日、14日、中央支部会議室で斉藤理事、田中理事が出席され2班に分かれ43名が参加した研修会が開催されました。

はじめに、江口委員長から23年度以降の駐輪場指定管理者として指定された報告があり、理事からは今回、指定管理者として指定されるに至った経過と課題について説明がありました。

引き続き、駐輪場での接遇について、林駐輪場班長が自分の所属する薬院大通駐輪場での日頃の事例をあげ、研修が行われました。

具体的な事例として強調されたことは、

- (1) 来場されたお客様は善良な市民である
- (2) お客様が困っているときの対応と「また



利用しよう」と思っただけのための環境づくり

(3) 会員はその時間帯の「看板」であることの認識

(4) 提案制度を重視し実行する

等、お客様への満足に役立てるよう努力しているとの説明でした。

その他委員長から適正就業、パワーハラスメントの説明と事務連絡があり、山田担当からは安全就業について報告があり質疑応答の後、終了しました。

支部役員会開催



2月18日(金)午前10時から、支部役員会が開催されました。

江口委員長挨拶の後、委員長から副委員長交替の件について報告があり、的野副委員長が体調不良のため退任され、後任に岩男会員の副委員長推薦があり承認されました。

続いて、22年4月～23年1月の配分金実績報告があり厳しい状況にあると報告がありました。

北理事から、公園樹木の刃傷補修完了報告と工作物の刃傷補修について今後の日程説明があり、公園事業に対するシルバー人材センターを見る目は行政、住民ともに厳しいものがあり就業姿勢を再度点検する必要がある。

名古屋市、大阪府和泉市シルバー人材センターの視察報告では支部全体の運営が特徴的で、また独自事業も様々なアイデアとともに実現していると報告がありました。

岩男副委員長、山本安全担当から22年4月～



23年1月までの事故発生状況について資料配布の上、従前型事故撲滅のため今後も安全就業マニュアルでのチェック徹底を図りたいと説明がありました。

その他、委員長から、引き続き駐輪場指定管理者の指定を頂いた事に伴い、今後の適正就業への取り組みと課題について説明がありました。

広報委員 井手上 勉

南支部

みなみしづ

大橋駅駐輪場



11月12日（金）午前10時に大橋駅駐輪場を訪問しました。今年度から（株）駅レンタカー九州に代わり、南支部は指定管理者制度により管理者に指定されたことは大変喜ばしいことです。現在、大橋駅駐輪場の他に高宮・平尾・井尻・笹原駅西の4駐輪場も管理でき、就業会員は一生懸命に活躍しています。



笹川班長の話によると、大橋駅駐輪場の就業会員は33名で内2名は女性会員ですが皆仲よく協力していますとの事でした。

就業時間は1日4交替制で、実働人員は13名です。常日頃から就業会員へお願いしていることは、利用者とのトラブル防止を重点目標とし、次の留意点を述べられました。

- ①利用者の駐輪場に対する不平や不満があっても冷静さを保ち対応する
- ②利用者に対して優しい言葉遣いをする
- ③服装は清潔感を第一とする
- ④就業中の動作は機敏にする
- ⑤接遇に関する講習会を就業する場で生かす

先日、利用者の方々からお褒めの言葉を頂きました。「場内整理が十分に行き届き、整頓されて気持ちが良い」、「笑顔で挨拶されるので好感が持てる」等です。

駐輪場を利用される方は学生から高齢者まで幅広い年齢層です。一人一人に適切な応対をしていくことは至難の業と思います。常に、非常事態が生じてでも対処できる心の準備が大切です。“利用者に親しまれる駐輪場”へ向かって前進してください。

「女性会員の集い」開催 ～「女性会員の拡大と親睦」～

「女性会員の集い」が2月28日（月）午前10時から、支部大会議室にて75名が参加して開催されました。

内山副委員長の司会で、矢口委員長代行の挨拶のあと、荒木理事より、互助会行事の参加と

日頃の協力に対する感謝の挨拶がありました。

「来年度は、事業規模が縮小されますが、支部としては、料理教室の発足に努力したいと思います」と抱負が述べられました。就業体験発表では、除草に就業されている山上静子さんは、「私の不注意で骨折して大変ご迷惑をかけました。その間、多くの会員の方々の励ましと優しさを頂き、心温まる思いをしました。今後は安全就業に気をつけたいと思います」。貴重な体験に身を引締めて聞き入っていました。

引き続き、帯金就業開拓担当は「厳しい経済状況の中で、企業側は就業先の開拓のために家事援助や子育て支援等にも手を伸ばしています。会員は就業先を待つだけでなく、自らが就業獲得へ行動すべき段階にあります。近隣にある事業所があれば紹介して下さい。口コミやパンフレットの配布などで、シルバー人材センターのPRを行って下さい」と述べました。一人一人の力は弱いけれど、千人の力が結集すると大きな石をも動かすことができると思います。

矢口委員長代行より、次の4点について報告がありました。

①平成22年度事業報告(12月現在)

女性会員は350名で、男性会員760名の半数である。女性会員の就業率はアップし54%で男性会員と同率であった。配分金の実績は駐輪場への就業会員の増加で公共関係は2倍以上に増加する。現在就業している分野で発注者にシルバー会員の良さ(経験・知識・親切さ)をアピールすること。

②南支部の現状と将来

南支部の地域は住宅地が多く、大企業が少なく中小企業もまばらである。そのために民間企業からの受注が少ない。更に発注先から就業日数を減らすという声も聞かれる。

③適正就業・適正受注への取組み

基本は月10日程度、週20時間以内、月80時間以内である。南支部は適正就業面は良好である。

④就業する上での注意

ワークシェアリング(1人の就業時間を短縮して分け合う)、ローテーション就業の強化

をしている。直接お客様の所へ行き就業をしないで、仕事の変更、追加等は必ず事務局を通すこと。



休憩時間後、「いつも 楽しく 美しく」というテーマで講演と実践指導がありました。講師は松延洋子さん(化粧品メーカー)で、化粧をすることによって得られる長所は、

① 外見を変える(美しくなる) ② 気持ちが変わる ③ コミュニケーションを良くする。

以上三点を述べられました。

〈事例〉として次のようなお話がありました。

車イスを利用されている高齢者の方が、単身で施設に入居されていました。人との触れ合いが少ない日々を送られていたそうですが、ある日施設を訪問する機会に恵まれて、その方にお逢いすることができました。「口紅をつけてあげましょうか、何色が好きですか」と尋ねますと、「赤色をつけてほしい」と言われました。その後、薄化粧をしてあげると自分の顔を見て嬉し泣きされました。傍で見ていた娘さんが「母の笑顔を5年ぶりに見ました。本当に有難うございました」とお礼と感謝を述べられました。

その後、実践指導になり、一人一人が手鏡を見ながら化粧を始めました。スタッフ5名の指導により見違えるように美しくなりました。女性会員のみなさんは、喜色満面にあふれた一時を過ごされました。



広報委員 高濱 一郎



熱心に太極拳に取り組む女性会員

城南

支部 じょうなんしぶ

女性会員の集い

「女性会員の集い」が2月24日、堂園委員長、原副委員長、高島安全担当の出席のもと、42名が参加して中央区六本松の大濠会館で開かれました。

堂園委員長からは、公益法人への申請に向けて環境を整備していること、シルバー人材センターの本来の姿に戻ろうという方針のもと、様々な改善を図っていることなどの報告がありました。具体的には、自動車による送迎の就業の中止、“月10日・週20時間”程度の就業の遵守、交通費廃止にともなう配分金の改正、互助会費の取り扱いなどです。なお、来年度の互助会費は年600円とし、会費を納める際に互助会費も納めることになりました。また、親睦旅行への助成金は従来どおりですが、サークル活動助成金やヤフードームでのプロ野球鑑賞券への助成金は減額されます。

高島安全・適正担当からは、事故発生についての報告がありました。それによると、平成22年12月末での当区の事故総数は7件（前年比-2）で、そのうち傷害事故が1件（前年比-3）、賠償事故が1件（前年比0）、自動車事故が5件（前年比+1）起きています。

原副委員長からは、女性会員の現状について

の報告がありました。それによると、12月末の当区の女性会員は252名で、就業率は約55%です。

この後、家事援助班の白神美保子会員による体験発表、質疑応答、久永猛会員（中央区）による太極拳の実技講座がありました。太極拳は心身の健康保持や美容、ケガ防止、老化防止、認知症予防、防犯に効果があるということで、参加会員も熱心に練習していました。

広報委員 藤 勇三

早良

支部

さわらしぶ

役員会開催

2月21日（月）の午後に、支部会議室で役員34名が出席して井上副委員長の進行により役員会が開催されました。

まず五島委員長から次のような話がありました。（要旨）

- ① 1月末現在の配分金は前年同期比94%で、市全体の98%に比べて4%下回っている。市全体が高いのは南支部の駐輪場指定管理者復活による。就業率は57.4%で市全体の54.2%を上回っている。男女別に見ると、男性54.9%・女性63.2%で女性が大きく上回っている。



- ②今年の秋に公益法人への申請を予定している。このため運転業務に就業している41名は4月から移籍することになる。又、就業日数・時間を圧縮するためワークシェアリングを進めている。刈払・除草・剪定要員が足りないため募集中である。
- ③互助会は独立組織になるため、手続きを進めている。
- ④交通費の廃止に伴い、配分金が変更（原則1時間プラス50円）になる。

次に、1月24日（月）夕方にNHKテレビ番組の“なっとく福岡”で放映された「西新駅中央駐輪場でのお客様対応」のビデオを観ました。特に職群班長はこの駐輪場での適切な対応に感心して、今後の就業の参考にしようと話していました。

最後に質疑応答があり散会しました。

配食班全体会議開催



2月22日（火）午後に、支部会議室で配食班の全体会議が班員15名全員が出席して開催されました。

先ず、五島委員長から支部の現状についての説明に続いて、4月からの配食事業の体制について次のような説明がありました。

- ①配食車両は、市全体で17台を14台とするため、早良支部では、現在の3台から2台になる。
- ②配達就業会員は、台数の減少に伴って、現在の15名から10名となる。

体制が大きく変わるため、就業会員のさらなる協力を求められました。

続いて、公益法人の申請・互助会の組織等についての説明がありました。

次に加藤安全担当から、前年に比べて事故が増加傾向にあり、安全運転に注意して欲しいとの要請がありました。

次に配食事務担当の角さんから諸々の要望があり、班員と熱心な話し合いが行われました。

最後に、平成23年度の班長とリーダーを次のように決めて散会しました。

班長：津志田孝次 会員
リーダー：五島 厚 会員

広報委員 高橋 勉



支部

にしぶ

“女性会員の集い” 開催

2月7日（月）に、「西支部女性会員の集い」が開催されました。

記録的な寒さが続いた今年の冬でしたが、この日は気温も14度と好天に恵まれました。

例年になく出席者も多く90名で、熱気あふれる会場となりました。

井上副委員長の司会で会が進められ、冒頭岩本委員長より当シルバー人材センターの現状と、今年から来年にかけて取り組む諸問題について話がありました。



岩本委員長の挨拶



リズム体操を楽しく

殊に、当支部の新しい展開としての主だった事項としては、

- ①支部の業績で大きなシェアを占めていた「運転業務」の撤退
- ②自転車駐車場（駐輪場）管理業務の5年振り復活

等の説明がありました。

この他、「就業先開拓の必要性で、殊に女性会員の『地域社会に貢献し、同時に会員それぞれにもプラスになる事業』の掘り起こし、又、今日のあふれる『女性パワー』で活躍を期待します」との話で締めくくられました。

次に桑野就業開拓担当（副委員長）より次のような話がありました。

- 友人、知人にシルバー人材センターの活動をPRしていただきたい。（アンケート調査で、市政だより・チラシ配りもさることながら、友人・知人へのPRが効果大であること）



パワー漲る女性会員

- 現在の就業先で、別に新しい仕事はないか気を配ってみる。

次に岩下安全担当より、

- 事故発生状況と事故具体例の説明があり、事故防止に一層心掛けるよう強く要請がありました。

本日の講演会には、日本歌謡大学学長二階堂健氏に講師をお願いをしていたが、先生がインフルエンザに罹患されたとの事で、急遽、同大学の一期生小倉和子氏にお願いしました。

演題は「歌う人も、歌わない人も元気を呼び込む『元気の元』」でした。

- 腹式呼吸 ○ビブラートの効用 ○リズム ○右脳・左脳の働き

について解説とその効用の話がありました。全員で講師の指導に倣って「リズム体操？」しながら、賑やかなひと時を持ちました。この場では、女性パワーの迫力が、一気にみんな和やか



「手作り作品」展示

な顔になりました。

小林家事援助担当からは、「家事班の執るべき姿勢と現状」、また井上理事からは、「家族を含めた健康管理、予防」等について熱く語っていただきました。

この他、未就業者の問題や、就業年限、就業先開拓などの質疑応答があり、閉会になりました。

別室で、手作りサークル「芙蓉の会」の展示会が同時に行われました。

●東日本大震災に対する義援金のご協力御礼

先の大震災に対して義援箱を設置致しましたところ、次の通り浄財をいただきました。

お届け先	福岡市西区	48,300 円
〃	県シルバー人材センター	43,730 円
合 計		92,030 円

ご協力有難うございました。今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

西区委員長 岩本 嘉宣

広報委員 岡崎 幸雄

城南区

じょうなんく

就業先情報



中村学園大学・中村学園大学短期大学部



地下鉄七隈線別府駅の階段を上ると、目の前に中村学園大学・中村学園大学短期大学部の東門が見えます。隣接する鳥飼（城南区）に学校法人中村学園が設立されたのは1953年12月で、翌年4月に短期大学部食物栄養学科の前身である福岡高等栄養学校が開校しました。以来、半世紀を経て今や大学、短期大学部及び大学院を合わせ持つ、総合大学に発展しています。

同大学には、保健・医療・福祉などの分野で活躍できる管理栄養士を育てる栄養科学部、児童・幼児教育に携わる人材を育てる教育学部、流通分野やマーケティ

ング分野での即戦力を育てる流通科学部があります。また、短期大学部には食物栄養学科、キャリア開発学科、幼児保育学科があり、大学院には栄養科学研究科、人間発達学研究科、流通科学研究科があります。学生総数は約4,000名で、その内男子は約600名です。

地域特性から個人就業先が多い城南支部にとって、同大学は数少ない法人就業先の一つで、駐輪・駐車場の管理に2名、正門受付に2名、計4名の会員が就業しています。主な仕事は駐輪場における自転車やバイクの整理と正門における自動車の案内です。同大学総務課から「皆さん、仕事熱心な方ばかりで助かっています。およそ1,000名の学生が自転車で登校していますので、登校時などは大変でしょうが手際よく整理されます。チェーンが外れたなど、ちょっとした故障であれば授業が終わるまでに修理していただいているようで、学生たちも喜んでいます」とのコメントをいただきました。

広報委員 藤 勇三

作業日報がかわります

今年度から配分金単価の改定が実施されたことに伴い、この4月から作業日報が従来の「作業日報」(水色)から「就業報告書」(ピンク)に変更となりました。就業報告書は、各支部に用意していますので、これまでの「作業日報」をお持ちの方は、就業報告書への交換をお願いします。

作業日報 月分

① 事務用紙

会員番号

氏名

日	作業時間	作業内容	作業場所	作業時間	作業内容	作業場所
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

会員は、ここより上を記入のこと。

② 事務用紙

区分

単価

数量

金額

通算額

配分金

交通費

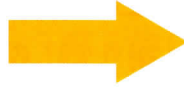
作業時間

センター利用費

諸経費

請求額

※ 提出が遅れると配分金支払いが翌月になります。ご了承ください。



就業報告書 月分

① 事務用紙

会員番号

氏名

日	作業時間	作業内容	作業場所	作業時間	作業内容	作業場所
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

会員は、ここより上を記入のこと。

② 事務用紙

区分

単価

数量

金額

通算額

配分金

交通費

作業時間

センター利用費

諸経費

請求額

※ 提出が遅れると配分金支払いが翌月になります。ご了承ください。

旧

新

あなたも仲間に加わりませんか！

剪定、除草、刈払いの 就業希望者募集



この三つの仕事は会員が不足しています。お客様からご要望の多いお仕事で、特に夏場には申込みに対応しきれずお断りしている状況です。5月から、随時講習会の開催を予定しています。お客様に喜ばれるやりがいのあるお仕事です。是非やってみようという方は所属の支部へお電話下さい。

刈払い講習会(座学)を開催します

日時：5月10日(火) 10:00~12:00

場所：1階本部・博多会議室(博多区千代1-21-16)

◎参加ご希望の方は4月28日(木)までに支部担当者にお申し込み下さい。

講習会等実施結果



家事援助サービス班関係

■ 会員基礎研修会	第 1 回(4月19日) ……………	受講者	41 名
	第 2 回(6月21日) ……………	受講者	45 名
	第 3 回(8月30日) ……………	受講者	53 名
	第 4 回(10月18日) ……………	受講者	31 名
	第 5 回(12月13日) ……………	受講者	46 名
	第 6 回(2月21日) ……………	受講者	37 名
■ 健康生活支援講習会	第 1 回(6月29日) ……………	受講者	20 名
	第 2 回(2月15日) ……………	受講者	24 名
■ 子育て支援講習会 (3 日間コース)	第 1 回(9月13～15日) ……	受講者 延べ	72 名
	第 2 回(1月17～19日) ……	受講者 //	59 名
■ 掃除講習会	第 1 回(3月 4日) ……………	受講者	23 名



街頭キャンペーン

各支部にて実施

212 名

筆耕班関係

■ 筆耕講習会 (初級)	第 1 回(6月15日) ……………	受講者	32 名
	第 2 回(11月15日) ……………	受講者	30 名
■ 筆耕講習会 (実務者)	第 1 回(6月28日) ……………	受講者	33 名
■ 筆耕判定会 (初級・中級)	第 1 回(7月 8日) ……………	受講者	45 名
	第 2 回(12月 8日) ……………	受講者	38 名
■ 筆耕判定会 (実務者)	第 1 回(2月25日) ……………	受講者	22 名



剪定班関係

■ 剪定講習会（初級）	第1回（8月26日）	受講者	38名
	第2回（8月27日）	受講者	39名
	第3回（9月10日）	受講者	30名
	第4回（11月26日）	受講者	32名
	第5回（3月8日）	受講者	40名

■ 剪定判定会	第1回（4月9日）	受講者	28名
---------	-----------	-----	-----

刈払・除草班関係

■ 座学および実技講習会	第1回（4月12・20日）	受講者	25名
	第2回（4月16日）	受講者	48名
	第3回（6月8日）	受講者	14名
	第4回（10月15日）	受講者	35名
	第5回（10月26日）	受講者	35名

駐輪場関係

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月11・18・24・25日・12月14日)	受講者	173名
■ 2年目就業会員接遇研修会	(9月6・7日)	受講者	73名

配食サービス関係

■ 接遇研修会	(11月5・11・16日)	受講者	18名
---------	---------------	-----	-----

地域リサイクル関係

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月5・11・16日)	受講者	14名
■ 実務研修会	(11月5・26日)	受講者	59名

窓口案内・区役所駐車場・福岡アジア美術館業務・モラルマナーセンター他

■ 新人就業会員接遇研修会	(11月5・11・16日)	受講者	84名
---------------	---------------	-----	-----

その他

■ ビル・マンション清掃講習会	第1回（3月3日）	受講者	26名
-----------------	-----------	-----	-----

平成 22 年度実績報告

平成 23 年 2 月末現在 ●会員数 7,413 名 ●就業者数 5,265 名
 男 性 4,906 名 ●就 業 率 53.9% (月平均)
 女 性 2,507 名 ●事業収入 20 億 7,355 万円

平成 22 年度事故発生状況

平成 23 年 2 月末現在 ●傷 害 事 故 31 件 (前年同期 24 件 前年度比 + 7 件)
 ●賠 償 事 故 22 件 (前年同期 24 件 前年度比 - 2 件)
 ●自動車事故 22 件 (前年同期 22 件 前年度比 0 件)
 ●累 計 75 件 (前年同期 70 件 前年度比 + 5 件)

■傷害事故 (1 月 1 日～ 2 月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	障害の程度		
								入院	通院	手術
1/14	途上	女	67	屋内清掃	就業途中、バスに乗るために道路を横断する時に、車道と歩道の段差を踏み外し転倒した。	足首	骨折	○		○
1/17	途上	女	67	筆耕	自転車で帰宅途中、交差点を渡り終える寸前に、猛スピードで交差点に入ってきた自転車を避けようとしたが、避けきれず段差に乗り上げて転倒した。	顔等	打撲		○	

■損害賠償事故 (1 月 1 日～ 2 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
1/11	女	78	家事援助	家事援助作業中に、誤って電気炊飯器を床に落とし、炊飯器本体および配線元のコンセントを破損した。

■自動車事故 (1 月 1 日～ 2 月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
1/15	男	62	配食	右折の際、ハンドル操作ミスのため、車両右後部をブロック塀の角にこすり、車体に傷を付けた。
1/22	男	69	配食	幅 3 メートルの電柱が有る道路で、離合しようとして当方の右サイドドアと相手方リアバンパーが接触した。相手側は、離合に際し停止していた。
2/24	男	68	配食	狭い道路から国道へ出て右折をする際、進入してきた軽トラックを避けようとしてハンドル操作を誤り、左に寄り過ぎた為に左サイドドアと道路端のポールとが接触して車両に傷を付けた。
2/24	男	67	送迎運転	業務を終えて所定の場所へ送迎車をバックさせながら格納する際、状況判断の甘さから駐車位置までのルートを誤り、車両前部バンパーと場内の倉庫とが接触して車体に傷を付けた。

シルバー保険について

シルバー人材センターの会員さんが、センターから提供された仕事に就業中、あるいはその途上で傷害を受けたり、あるいは就業中に他人の身体・財物に与えた損害について、一般労働者のように労災保険が適用されないため、これに代わるものとして用意されている保険です。

●団体傷害保険〈シルバー保険〉

傷害の原因となった就業中の「急激かつ偶然な外来の」事故、あるいは通常の経路で就業途上の事故で、身体に傷害を受けた場合に、規定により保険金が支払われます。

死亡・後遺傷害	……………	最高	900 万円
怪我で入院	……………	1 日	3,000 円
// で通院	……………	1 日	1,000 円

※傷害保険が適用されない場合

- ① 故意による事故
- ② 病気が原因で傷害を被った場合
- ③ むちうち症・腰痛などで他覚症状のないもの。
- ④ 熱中症など
- ⑤ 再び就業を始めた日以降



●総合賠償責任保険〈シルバー保険〉

就業中、他人に傷害を負わせたり、他人の財産を損壊するなど、誤って第三者に損害を与えた場合に、規定により損害賠償金が支払われます。

(注) 自動車運転中の場合は、車に付いている保険で対応することになります。

人身賠償	……………	1 事故につき	最高	3 億円
財物賠償	……………	1 事故につき	最高	3 億円
		* 1 事故につき		(免責 1 万円)

●自動車保険〈任意保険〉

対 人	……………	無制限
対 物	……………	無制限
車 輦	(地震以外すべて対象)	
	* 車輦	(免責 5 万円)
	* 2 トントラック	(免責 7 万円)



※詳細については、事務局にお問い合わせください。

平成22年度会議開催状況(2月～3月)

●理事会

回	開催月日	議案
13	2月23日(水)	・正会員の入会について ・公益認定申請に伴う定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について
14	3月23日(水)	・正会員の入会について ・平成23年度予算(案)について ・回収不能債権の処理について ・平成23年度事業計画(案)について ・公益認定申請に伴う定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
11	2月16日(水)	・未収金対策について ・平成23年度の配食事業について ・公益認定申請に伴う定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について ・配分金比較表について
12	3月16日(水)	・未収金対策について ・平成23年度予算(案)について ・回収不能債権の処理について ・平成23年度事業計画(案)について ・定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について ・配分金比較表について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
12	2月18日(金)	・定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について ・配分金比較表について ・平成23年度の配食事業について ・平成23年度事業計画(予算案)について
13	3月 4日(金)	・平成23年度予算(案)について
14	3月17日(木)	・平成23年度事業計画(案)について ・定款変更(案)、役員の報酬等及び費用に関する規程(案)について ・平成23年度予算(案)について ・配分金比較表について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
10	2月23日(水)	・総務部会及び業務部会報告 ・平成22年度1月事業実績について
11	3月23日(水)	・総務部会及び業務部会報告 ・平成22年度2月事業実績について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
10	2月23日(水)	・平成22年度事故状況について ・損害賠償の審議事項
11	3月23日(水)	・平成22年度事故状況について ・損害賠償の審議事項

●互助会業務委員会

回	開催月日	議案
11	2月 3日(木)	・芸能大会結果報告について
12	3月 3日(木)	・平成23年度互助会事業活動計画について

「熊野道祖神社」



お正月の初詣は、例年地域の氏神様を参拝します。塩原4丁目にある「熊野道祖神社」です。

境内に奉納された多くの絵馬等を目にしました。様々な願い事が書いてあり、新年を幸せに暮らしたいという思いが伝わってきました。

「熊野道祖神社」

- ・鎮座地 福岡市南区塩原4丁目11-1
- ・御祭神 イザナギノミコト クナドノカミ ヤチマタヒコノカミ ヤチマタヒメノカミ
伊邪那岐命・久那斗神・八衢比古神・八衢比売神
- ・由緒 熊野神社は古より塩原の射場「塩原中央部」にイザナギノミコトを祭祀せられ、道祖神社は塩原“塩原イトリサヤ”「塩原四丁目芸工大前」に、クナドノカミ、ヤチマタヒコノカミ、ヤチマタヒメノカミを奉斎しておりましたが、昭和12年両社が合祀せられて現在の「熊野道祖神社」となりました。

熊野神社は、熊野三社を本宮として全国各地に分祀される氏神、産土神うぶすながみ。その数は3,000社を越えています。

道祖神社は、村境や峠などの路傍にあって外来の疾病や悪霊を防ぐ神といわれています。御祭神であるクナドノカミは、道の分かれるところに立って、種々の禍災を退けて旅人の安全を図るという道路の神のことです。又、ヤチマタヒコノカミとヤチマタヒメノカミは、夫婦神と思われていますが定かではありません。八衢とは、道が八つに分岐している所で迷いやすいことの

意味です。道祖神社の神域は、昼尚暗き樹木に覆われ周囲は水田地帯でした。そこに福岡県立筑紫中学校(現:筑紫丘高等学校)を建設する際、社地の樹木をみだりに伐採したところ、病や不慮の災害に罹った者が多く、学校を移転させることは神罰の恐れありと判断し、据置されました。

那珂川べりの塩原という地名の起こりは昔、このあたりまで海水が上がってきて塩焼き(製塩)が行われ、塩原になりました。この周辺は暗夜になると飛び火や鬼火おにびさらに人魂ひとたま(死者の霊)が飛び回り民衆を恐怖におとし入れたそうです。神秘なる一例として、明治21年の大暴風の際、倒れたる神木が一夜の間に自ら起き直り、今尚森々として繁茂し、榎の太木が四季折々の変化を遂げて参拝者の心を慰め、千古の杜も依然として尊厳を保持しています。

〈恒例祭〉

歳旦祭	1月1日
元始祭	1月3日
節分祭	2月3日
建国記念日	2月11日
春季大祭	4月14、15、16日
夏季大祭	7月14、15日
秋季大祭	10月1、2、3日

〈月例祭〉 毎月1日、15日

〈諸祈願〉

交通安全、商売繁昌、家内和合安全、厄除、海上安全など

近年、パワースポットブームもあり参拝者は増え続けています。特に小グループの女性を中心とした若い世代や家族連れが目立っています。「熊野道祖神社」略記に先人の願望が込められた歌を紹介します。

“ちはやぶる 神のかためし わが国を
民とともに 守らざらめや”

(参考文献:「南区ふるさと」「熊野道祖神社略記」)

広報委員 高濱 一郎

会員のひろば



長崎を さるいて来ました

「楽しく歩こう会」の2月例会は、例年バスハイクで少し遠くまで足を伸ばしています。

今回は、堂園委員長の現役時代の先輩が「長崎さるく」のガイドをされているとの事で、長崎を案内していただきました。

丸山界隈を、普通の観光旅行では素通りしてしまいそうな場所まで、丁寧な説明を聞きながらさるきました。長崎名物のチャンポンも堪能し、楽しく少し得をした1日でした。

城南支部 福山喜久枝



朧夜や 眼鏡二つを
使ひ分く

春雷や ニュースがニュース
消してゆく

春立てり お堀開きの
水たぎつ

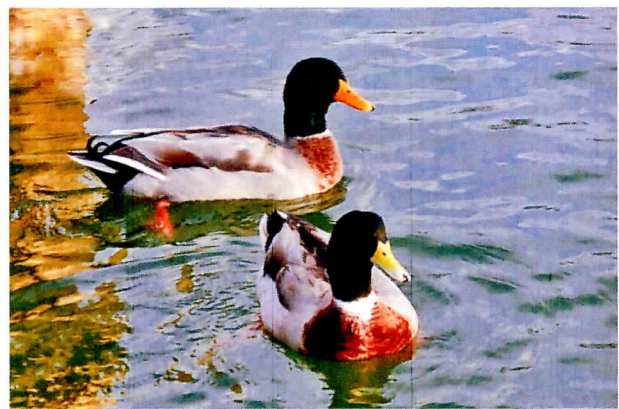
俳句
南支部 高濱 章子



博多区近隣の ブーゲンビリア

駕与丁公園の かも

博多支部 森本 雪子



俳句

「四季」

中央支部・俳句の会「鴻臚」

大津 英世

父を恋ふ 男一人の

遍路かな

妻恋の 歌碑夏蝶を

放ちけり

沈黙は 愛の始まり

月見草

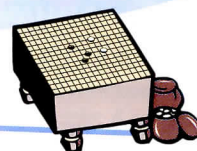
波来れば 波を枕に

冬かもめ

福岡市シルバー人材センター 互助会

平成 23 年度 互助会 年間行事予定

- 囲碁大会…平成 23 年 7 月
- ボウリング大会…平成 23 年 8 月
- ハイキング&歴史探訪…平成 23 年 9 月
- ゴルフ大会…平成 23 年 10 月
- 芸能大会…平成 23 年 12 月



申込方法

FAX 又はハガキで各支部互助会にお申し込み下さい。

〈各支部互助会〉

東 支部	〒812-0061	東区筥松 2 丁目 1-27	FAX 624-4682
博多支部	〒812-0044	博多区千代 1 丁目 21-16	FAX 633-4681
中央支部	〒810-0044	中央区六本松 1 丁目 2-22	FAX 713-4453
南 支部	〒815-0033	南区大橋 3 丁目 17-3	FAX 551-5300
城南支部	〒810-0044	中央区六本松 1 丁目 2-22	FAX 731-7731
早良支部	〒814-0006	早良区百道 2 丁目 1-35	FAX 821-4899
西 支部	〒819-0002	西区姪の浜 4 丁目 8-28	FAX 881-4761

◎電話でのお申し込みはご遠慮下さい。

事務局からのお知らせ

平成23年度通常総会のお知らせ

- 日時／平成23年5月27日(金)午前10時開会予定
- 場所／福岡市民会館 福岡市中央区天神5丁目1-23

総会は、平成22年度の決算や、平成23年度の予算案などの審議、承認が行われる、福岡市シルバー人材センターにとって重要なものです。

さらに、今回の総会は公益認定申請のために必要な議案がありますので、全会員の4分の3以上の出席が必要となります。

総会の出席についてご協力をよろしくをお願いします。就業等によりやむを得ず欠席される方は、委任状(5月中旬に配布予定)の提出をお願いします。



平成23年度会費の納入について

平成23年度の会費は、会費規約に基づき、通常総会の開催までに納入する必要があります。口座振替の登録をしている方で、**4月1日時点で会員登録をしている方**につきましては、下記の日程で口座振替を実施いたします。

また、口座振替の登録をされていない方につきましては、「会費納入のお願い」を送付いたしますので、記載の期日までに納入をお願いします。なお、センター指定の口座へのお振込については、金融機関所定の手数料が必要となりますのでご注意ください。

◎口座振替実施日／平成23年5月20日(金)

寄稿募集のお知らせ

記事や写真、絵画、詩など、皆様からのシルバーだよりへの寄稿を広く募集しております。ご興味のある方は、支部広報委員までご連絡ください。



耳が聞こえる聞こえないでは、 人生も性格も変わる。

「人知れず悩んだが、早く補聴器を使用すべきだった」

この言葉は、耳が聞こえる聞こえないでは人生も性格も変えることを強く感じられた方の教訓です。

「若作りの私は、補聴器の使用は老いに拍車をかけると思い込み、悩み、抵抗がありました。しかし、補聴器を使用してからは、積極的に会合でも発言し、業務でもリーダーシップを発揮できるようになったねと言われました」と彼は満面の笑みで答えていただきました。(68才/男性)



●ご自宅にお伺いもできます。

補聴器の相談
聴力測定
補聴器の試聴

すべて無料にてできます。
お気軽にお電話ください。

認定補聴器技能者 登録番号 14-2355 瀬戸
(携帯) 080-4222-4805

会員様特別企画
デジタル補聴器

10%OFF

お電話のさいに「ふくおかシルバーだよりを
見ました」とお伝えください!

シンコム補聴器センター

福岡市博多区金の隈 1 丁目 33-22

電話(092)504-3919

FAX(092)504-3944

営業時間 9:00~17:30 休日/日曜・祭日・第三土曜日

※広告の依頼を受けた時は、随時掲載を予定しております。



使わない機能や器物は退化していくという法則があり、これを「廃用性萎縮の法則」というそうです。

人間の体の細胞は60兆個、脳の細胞は140億だそうです。20歳を過ぎると脳の細胞は毎日10万~20万減るそうです。ところが、「脳を使う」ことで減る速度を落とすことが出来るといわれています。

出来るだけ多くの仲間を作り、会話や行動をする事で「脳の退化を遅らせる」事が出来るのです。
今年度も元気で頑張りましょう。

(Y.O)

「ふくおかシルバーだより」 発行元/(社)福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代 1 丁目 21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org